

**D X協働モデル創出プロジェクト実施業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年8月22日 9時10分から12時05分まで
2	場 所	広島県庁本館3階 301会議室 ※提案者はZoomにより出席
3	出席委員	商工労働局 地域経済支援担当部長 総務局 D X推進課長（代理：同課参事） 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当） 商工労働局 経営革新課担当課長（機動的経済支援担当） 商工労働局 中小企業支援課長
4	議 題	D X協働モデル創出プロジェクト実施業務公募型プロポーザルに係るプレゼンテーション審査について
5	担当部署	商工労働局 経営革新課
6	開催方法	参集（オンライン併用）
7	議事内容	選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。 D社：株式会社エクレクト E社：株式会社ATOMica F社：NTT ビジネスソリューションズ株式会社広島ビジネス営業部 G社：株式会社広島銀行 H社：有限責任監査法人トーマツ広島事務所 各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。 【D社】 ・ 量的拡大策の内容などいくつか懸念を感じる面もあるが、各提案項目に沿って、バランス良い提案がなされている。 ・ 地元の商工会との連携が期待できるところは評価できる。スケジュールや目標の達成には少し疑問が残る。 ・ 業務目的を深く理解し、具体的で実現性の高い提案が示されている。次年度展開を見据えた効果的な内容であり、波及効果にも期待が持てる。 ・ 現時点で想定するテーマ設定については、支援団体等を核としてSaaSの共同利用を目指すなど量的な拡大が見込める具体的なものである点

		は評価できる。一方で、どのように実際に共通課題を抽出するか、また、次年度以降の展開の具体的な手法についての説明があればよかった。 ・ テーマ案と支援策と、その成果のイメージが少し乖離している感じを受ける、より実現可能性のある支援策の提案があれば、望ましい。 【E社】 ・ 想定される課題の把握やテーマ設定等が十分でなく、業務内容も抽象的な内容に留まっている。 ・ 今回の事業の趣旨である同地域や同業種で連携して取り組むという部分をどのように進めるのかについて具体的に提案がなかった。 ・ 地域や小規模事業者の特性が十分に反映されておらず、具体的な解決策に乏しい印象を受ける。 ・ コワーキングスペースの豊富な運営実績により、コミュニティ運営やプラットフォーム構築に強みを有している点は評価できる。一方で、課題解決に向けたテーマ設定例の具体性があればよかった。 ・ 次年度以降の展開としての仕掛けが円滑に動くために、精密な体制等の準備も含め、より整理できていれば評価できる。 【F社】 ・ 地域や業種について具体的に絞った提案になっていることは評価できる一方で、次年度に向けた十分な成果につながらないリスクもある。 ・ テーマ、支援について詳細に検討されているので期待がもてる。自由提案についても実現できれば効果が期待できる。 ・ 提案内容は仕様書の基本要件を満たしているものの、課題設定や解決策が具体性に欠けている。 ・ 現時点では困難と考えられる DX 加速プランの目標達成を見据えた意欲的な提案であり、また、各テーマに対する支援例が具体的にイメージできるなど、大変評価できる。 ・ 次年度以降の展開について、より持続性が期待できるモデルとして評価できる。 【G社】 ・ 本事業の目的である小規模事業者が連携する枠組み構築に十分つながらない懸念がある。
--	--	--

	・ 日頃からの企業との接点に基づく分析は評価できるが、ターゲット設定の規模が大きいこと、実際のゴールが少し現実的なものになっている。 ・ 提案者の広範な事業者ネットワークを活用した具体的で実効性のあるニーズ把握が期待される一方で、本事業の参画企業が 4 社と少ない点が懸念される。 ・ 日頃から多くの小規模事業者等とのつながりを有していることから、面的な DX の拡大に向けた取組の実効性は高く期待できる。一方で、小規模事業者等間での連携の要素が薄いと感じた。 ・ 課題解決に向けた支援が少し抽象的であることを否めないことと、設定する支援企業数等が成果の波及効果に繋がるとは言い難いと考ええる。 【H社】 ・ 本事業の目的である小規模事業者が連携する枠組み構築に向け、よく考えられている内容と思うが、成果実現のハードルの高さも感じる。 ・ 事業の趣旨をよく理解されており、目標設定の提案や分析が的確であると感じた。実現できれば横展開が期待できる。 ・ 提案内容は業務仕様書の趣旨を十分に捉え、課題も具体性があるものの、次年度以降の展開における想定予算が過大であり、持続可能性が懸念される。 ・ 参加候補者が具体的にリストアップされており、多くの企業の巻き込みが期待できる。一方で、課題解決に向けたテーマ設定例の説明が不足していた。 ・ 共通課題のテーマとして候補の内容等について評価できる。なお、具体的な目標設定等や次年度以降の展開が示されていない点は評価できない。
--	--